# 平成30年度　第2四半期　指摘事項一覧（事業者の処置状況の追記）

原子力事業所又は原子力施設名：北海道電力（株）泊発電所

作成責任者　統括原子力運転検査官　稲垣　隆二

| 番号 | 指摘日 | 事務所<br>担当者 | 事業者<br>対応者 | 指摘（要旨） | 事業者<br>回答日 | 事業者の処置状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 平成30年8月20日 | 稲垣 | 所長他 | 6月12日実施の全体成立性確認訓練時において、一部の訓練員（発電室員）が管理区域にガラスバッジ（GB)は携帯していたものの警報付きポケット線量計（APD)を不携帯のまま入域し、出入管理していた安全管理課員がそれを確認しながら訓練が継続される事象が確認された。この事案については、保安規定に紐付く社内手順書等に反する不適切な行為であることから、保安活動の実効性をより確実なものにするため、原因究明することと、再発防止策を検討し確実に実施することについて指導文書を発出した。 | 平成30年9月28日 | 平成30年8月24日及び9月4日の不適合管理委員会において、原因分析が行われ、是正処置、予防処置について検討がなされ承認された。<br>　再発防止策の概略は以下のとおり<br>①再教育の実施<br>・管理区域立入時にGB及びAPDの装着が必要なこと<br>・所内ルールを遵守すること<br>・不測の事態や疑問が生じた際は安全側に判断し、速やかに上長に報告・連絡・相談すること<br>②注意喚起の実施<br>・訓練開始前に管理区域入口となる管理区域境界扉等にGB及びAPDを装着すること等の掲示<br>③物理的措置の実施<br>・扉放管員が確認するまで管理区域に入域できないように立入禁止テープを設ける<br>④APD着用確認の実施<br>・チェックリストを作成し、訓練関係者による着用状況のチェックをおこなう<br>⑤手順書への反映<br>・安全管理課員の配布を待つことなく発電室員が自主的にGB及びAPDを着用する手順にする |
| | | | | | 平成30年12月5日 | 【改善処置状況の確認】<br>平成30年12月5日に全体成立性確認訓練が実施されたことから①再教育の実施、②注意喚起の実施、③物理措置の実施、④APD着用確認の実施、⑤手順書への反映、について関係記録・手順書を確認するとともに、現場立会により是正処置が実施されていることを確認した。 |